

- 1 だいまくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しよは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きげて書きはじめ、だんらくごにきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

（ ） 月 日 曜日

屋久杉ランドに行つたよ

安房小学校 三年 山野ひかり

「お父さん、この岩の上で食べようよ。」

「いっただきまあす。」

今日は、八月十一日。「山の日」一番下の妹ころが生まれてから、初めて、みんなで

屋久杉ランドに山登りに行きました。

お父さんが、朝、外に出て山を見ていると

海の方から、風がフワァと背中をおしたの

で、「山に行きたいな。」と思つたそうです

屋久杉ランドでは、八十分コースをえらび

ました。しばらく歩くと、大きな川原に出ま

した。ほかの人たちがおおいそうに、おべ

ん当を食べていました。わたしたちは、大き

な岩の上でおべん当を食べることになりました。

お弁当の中みは、いなりずし、からあげ、

コロツケ、えだ豆などがならんでいました。

わたしは、一番さいしよにいなりずしを食べ

ました。登り始めたのが、十二時すぎ。二才

のころといっしよだつたので、時間がかか

- 4 と、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいいくは、一きょうめに、学年・学校・組・名まえは二きょうめに書き、文しよは三きょうめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さけて書きはじめ、だんらくごときにきょうをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきょうも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

（ 月 日 曜日 ）

り、みんなおなかですいていました。だから
 バグバグ食べたので、おべん当はあつという
 間になくなりました。おべん当の後は、おが
 し。みんなであらんでもって来たおかしを、
 ーことって、となりに戻して食べました。

その行、川へ入りました。川は、川はばが
 広く、大きな岩がゴロゴロしていました。川
 の水は、すき通っていて、ひんやりしていま
 した。

「やったあ」

足をつけてみると、氷水のようにでした。足が
 ギンギンしてきました。

「お姉ちゃん、わたしも入る。」
 ところが、急いで入ろうとすると、つるつと
 すべつてしまいました。ここは、頭までず
 ぶぬれになってしまいました。

「だいじょうぶ。」
 みんな心配して声をかけたけど、ここは、
 おおはしやぎでした。

わたしたちは、また山登りを始めました。

- 4 と、と。は、それぞれ一字にカぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきょうをかえて、おはなだけを書きましよう。

（不許複製）



- 1 だいくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは二ぎようめに書き、文しよは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらく()とにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそえましよう。

() 月 日 曜日

その道は、岩がごつごつして、岩と岩の間、足がはさまりそうでした。わたしは、ゆっくり道をさがしながら歩きました。少し登ると、緑でいっぱい細い道が続いていました。

これまでの道は、板や丸太で道が作られていたけど、その道は、自然のままの道でした。左側は、かけになって、下に落ちそうになりました。

足がはまったよお。と、ころが言ったのであぶないなあと思いました。

つりはしも、こわかったです。足をふみだすたびに、ぐらっぐらっ、とゆれました。かん光客の人がたくさんいたので、重さでなおさらゆれて、足がぞくぞくしました。でも、とつても気持ちよかったです。

今年から始まった、山の日、家族で登れたので、よい思い出になりました。また、家族で屋久杉ランドに行きたいです。

4、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなだけを書きましよう。

(不許複製)

